

# お子様が予防接種を受ける前に



予防接種を受けることになった時、お子様をどのように病院へ連れて行けますか？



大きくなれば、嫌がったり泣いたり… 難しいことが多いですね。  
診察室で初めて予防接種を受けることを知るお子様が多いのが現状です。  
でも、子ども側から見ると、何をされるかわからないことで不信感を抱いたり、  
恐怖心が増したり、怒りを感じているかもしれません。

子どもにとっても自分なりに納得することが大切なのです。  
そこで、前もってお子さんに説明しましょう。

## 説明することのメリット

**その1...** 何をされるかわからないよりも知っている方が恐怖心が少なく痛みが軽減します。

**その2...** 「やられた」ではなく「できたよ」という自信をもつことができる。

## いつから説明するの？

目安として…

- 2～3歳 …… 数時間前
- 4～6歳 …… 前日
- 小学生以上 …… 1週間前

もちろん生後2か月ワクチンデビュー時から説明してもOKですよ！

前もって説明する  
ことが大切です！



## どのようにして説明するの？

たとえば…

1.

からだの中にバイキンさんがくるとお風邪になっちゃう。でも、ご飯をしっかり食べて、ゆっくり寝てたら『免疫さん』がバイキンさんをやっつけてくれるよ。

正確である必要はありません。

2.

でもね、すっごくつよいバイキンさんがいて、『免疫さん』でもなかなかやっつけられないこともあるんだよ。

3.

そこで、からだにぶちゅーとおくすりをちつくんすると、『免疫さん』が、ぐぐぐと元気になって、つよーいバイキンさんをやっつけるんだよ。

4.

今日(または明日)、そんな注射をしに行くよ。



# お子様が予防接種を受ける前に

vol.13年報/2018.11.1発行

大切なことは・・・

子どもの気持ちを受け止め、  
体験を共有することです。

- 決してうそはつかない。
- 子どもの気持ちを否定せず、嫌だけれど病気にならないために大切なことだという前向きな話をする。

**子どもの『こわい』という気持ちは否定せず子どもを応援しよう！**

- 子どもが頑張れたという気持ちになれるように・・・

**必ず褒めてあげよう！**

たとえば・・・「ちゃんとお注射できたね」

「お口を大きく開けて、うでを動かさないでできたね」など、  
できたことをしっかりと褒めてあげましょう!!

ごっこ遊び・・・ 2～3歳のお子さまへは言葉だけではなく、ごっこ遊びをすることで理解しやすいです。

『予防接種の手順』を参考にして、ごっこ遊びで注射の予行演習をしてみたいかかでしょうか？

当クリニックでは、泣いても大丈夫、安全にできるようにお手伝いさせていただきます。

